

創刊にむけて

さいたま市は、特徴がないまちだと言われる。
 住人にさえ、眼を皿のようにしなければ
 その魅力は見えてこない。
 ましてや外にいる人を惹きつけることは
 なかなか難しい。
 それは、このまちの魅力が
 眼に見えないところにあるからなのかもしれない。
 ここに暮らす人々のぬくもりや息づかい。
 新しさと懐かしさ。
 そんなありのままの姿を
 さいたま市を知らない人に知ってもらいたい。
 住んでいる人にも、再発見してほしい。
 そのため、一冊一冊、丁寧に伝えていきたい。
 この冊子を、ささやかながら作り続けることが
 さいたま市の歴史のひとつとなるように。

さいたま市は、浦和市・大宮市・与野市が合併して、さらに岩槻市が一緒になってきたんだ。



編集後記

●この冊子は、広報課職員で全て1から作りました。前例がないので大変だった分、とてもやりがいがありました。納得できる一枚が撮れるまで、何回も足を運びました。こんなに写真にこだわったのは自分史上初です。冊子を作るにあたり、取材協力をいただいた方達に心から感謝します。(原)

●明け方に、かじかむ手に息を吹きかけながら写真を撮影したり、必死で1つの単語が思い浮かばず、文章と格闘したり、いまでは大切な思い出です。

この冊子が、皆さんの「さいたま市の魅力発見」に、ほんの少しでも役立てれば、うれしいです。(し)

●総撮影枚数1,000枚以上。時前柄、毎日が寒さとの戦いでした。果たしてまちの魅力とは？皆さんはどんなところに魅力を感じますか？(ま)

この冊子は今後、年2回(3・9月)発行します。皆さんの感想や情報もお待ちしております。

☐ koho@city.saitama.lg.jp